

「働き方改革通信: Smile」は、“先生の Happy が子どもの笑顔をつくる”を取組姿勢とした「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」の進捗（達成目標の現状等）や各学校での取組を共有し、更なる取組の推進・充実につなげるために発行しています。

Topic

働き方改革を支える！横浜市教育委員会の取組

①

平成31年度“教職員の働き方改革”関連予算案

全体校長会議（2/5）において、教育長より平成31年度の教育予算案を説明させていただきました。事後アンケートからは、学校現場の実情に寄り添った予算案であるとの評価とともに、今後につながる視点も多くいただきました。平成31年度予算（教職員の働き方改革関係）の概要をお伝えします。

概要①

前年比 約 **10億円**

増額

全体校長会議アンケートより



- 必要だと思っていたところへの予算が増額されたと感じた。
- 様々な取組に、新規及び拡充が盛り込まれ、大変期待している。
- 22の項目うち19項目で増額されており、横浜市が教育に力を入れていることが分かった。

概要②

専門スタッフ等

拡充

全体校長会議アンケートより

専門スタッフ	平成30年度	平成31年度	増加
職員室業務アシスタント 全小・中・義務教育学校へ配置	130校	486校	+356校
部活動指導員	50校	180校	+130校
ICT支援員 全小学校・義務教育学校前期課程へ派遣	小学校 試行 2校	小・義務(前) 342校 中学校 試行 2校	+342校
児童支援専任 後補充非常勤の常勤化 国庫負担が入る定数を超えて拡充	90校	140校	+50校
特別支援教育支援員 配置時間数の増加	約12万3400時間	約20万1000時間	+約77600時間

- 人的配置が増えていくことが、今、求められているきめ細やかな対応、不祥事防止にもつながると思う。
- 職員室業務アシスタントの全校配置計画の前倒しや特別支援教育支援員の拡充など、現場のニーズに沿った予算案だ。
- プログラミング教育が始まる中、ICT支援員の派遣には大いに期待したい。
- 今後増加が予想される臨任、非常勤等の人材確保のためにも人材バンクの創設をお願いしたい。

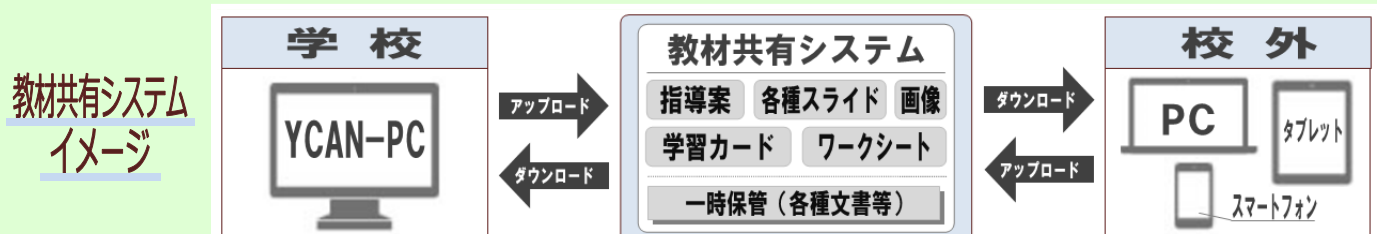
☑ 周りで職員室業務アシスタントを希望する方がいる場合は、教育政策推進課（671-3617）までご連絡ください。（まだ確保できていない学校に紹介できる可能性もあるため）

概要③

ICTを活用した業務の効率化

構築

「総合学校支援システム」の一つとして、教材等を全教職員で共有できるシステム（2020年度導入予定）や学校と家庭をつなぐ情報共有システムの構築を検討していきます。



2月4日、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの協力を得て、伊藤研修センター（新横浜）でフォーラムを開催しました。企業、大学、有識者、学校等の関係者による実践紹介等、内容が盛りだくさん。

教職員の笑顔が、子どもたちの未来につながっていく—そんな「働き方改革」について、参会者一人ひとりが考えるヒントが見つかる機会となりました。参会者の感想から、フォーラムの様子をご紹介します。

参加者：約200名



① 企業での実践から学ぶ

「イトーヨーカ堂の働き方の変化」

人事室 勤労厚生部 総括マネジャー 須賀 秀人氏

働き方改革に向けて、多方面から取り組んでいる実践（例えば退社促進カード、メール標記新ルールなど）は工夫に満ち、組織としての意識の高さを感じた。

働き方改革部門（社長賞）だけでなく、休み方改革部門も並んでいることも、実はとても大事で素晴らしいことだと思う。【学校事務職員】

③ 基調講演

「学校の働き方改革の先にあるもの」

中教審 働き方改革特別部会委員 妹尾 昌俊氏
横浜市学校業務アドバイザー 等

やめること、減らすこと、大切にすることの精選。教職員が元気になるための取組を進めていく。それが子どもたちの笑顔と元気につながるように。【校長】



② 「学校提案型 働き方改革推進校」による実践から考える

「働き方改革で、みんな笑顔のチーム北山田！」北山田小学校
「未来志向で、楽しく働こう！先生も生徒も楽しみが増える学校を目指せ！」
鴨居 中学校

自分が学校経営するにあたってのヒントが多かった。社会の中にある学校として、時代にマッチしたものにしたい。先生方の幸せがスタート。それが子どもの幸せだ。【副校長】

「職場が働くことが楽しくなるアイデアを募る！！」特効薬はないし、他の学校のまねをしても、うまくいかない事が多い。先生方が楽しくしたい、働きやすくしたいという気持ちをそれぞれが持って、学校が共通の方向を向いてくれるよう働きかけをして、うちの学校にぴったりの方法をカスタマイズしたい。【学校事務職員】

④ 大学との共同研究

「持続可能な働き方プロジェクト」<sup>～サーベイフィードバックが
教職員の働き方を変える～</sup>

立教大学 中原淳研究室 × 横浜市教育委員会

自分の力では大きなことはできません。しかし、小さな風を起こすこと、若手のモデルになることはできると思う。【教員】

できることから、どんどん取り組む事も必要と思う。まず、「何で？何を目標して？」を、もう一度考えてみたい、そんな気持ちになって、学校へ戻ることができる。【副校長】

職場の方々と同じ方向を向き、思いを共通しながら環境を良くしていきたいと望んでいる。管理職の先生方にお任せするのではなく、自分達で1つずつ変えていきたい。もっともっとできる事があると感じた。【教員】



どの発表もワクワクしながら拝聴した。出来そうなことの枠が大きく拡がり、この流れに乗ることが大事。【教員】

セブン&アイ・ホールディングス

伊藤研修センターとは？

セブン&アイ・ホールディングスの人材育成の要となる施設です。「1階史料室エリア」は創業の理念を伝える場、「2階技能室エリア」は販売や調理などの技術研修を行う場です。

伊藤研修センター長 高木さん より
教職員の皆さんが真剣に働き方を変えようと取り組まれている姿に接し、生産性を重視すべき民間の我々もまだまだ改善の余地があると反省。行政、民間の区別なく、互いに情報を共有し合い、人が生き生き生活できるより良い社会を作ることが大切だと感じました。

人事室勤労厚生部統括マネジャー 須賀さん より

民間企業だけでなく教育現場においても相当なスピードで意識改革が進んでおり大変参考になりました。今後も情報交換を進めさせていただきたいと思えます。



【写真は、陳列実習室】

施設見学をした参加者の声

イトーヨーカ堂さんの研修施設や資料室の見学もとても興味深かった。素晴らしい設備があり、充実した体験も可能で社会見学等での活用ができれば！

意識を変える！“見える化”のすすめ

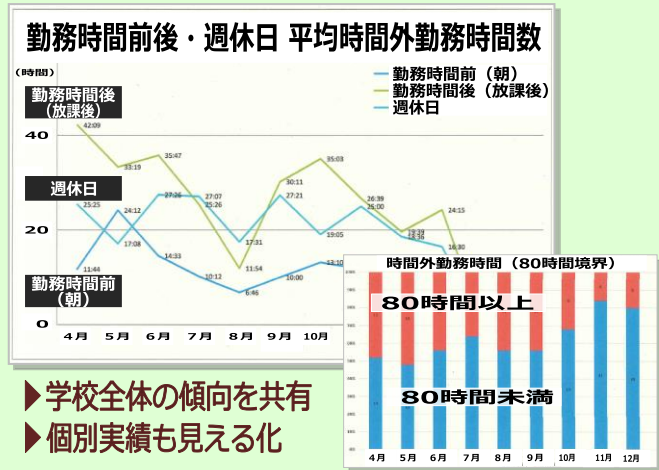


働き方改革へのアプローチは様々です。すすき野中学校では、時間外勤務と部活動スケジュール（休養日設定含む）について見える化を進めています。その具体（一部抜粋）と先生方の声をお伝えします。



見える化①

～時間外勤務時間編～



- ▶ 学校全体の傾向を共有
- ▶ 個別実績も見える化



見える化②

～部活動休養日編～

すすき野中学校 バレーボール部2月予定表

日	曜日	朝練	部活動	備考
1	金	○	あり(休練)	
2	土		8:30~11:30	
3	日		総練習	
4	月	×	あり(半面)	
5	火	×	あり(全日)	
6	水	○	休養日	
7	木	×	定期練習活動中止	
8	金	×		
9	土			
10	日			
11	月	×		
12	火	×	総練習	
13	水	×	総練習	
14	木	×	期末試験(休練)	
15	金	○	あり(休練)	
16	土		休養日	
17	日		3区1年生大会	
18	月	×	あり(半面)	
19	火	×	休養日	一言下校
20	水	○	休養日	
21	木	×	あり(休練)	学友杯地区大会2時開始
22	金	×	あり(休練)	学友杯地区大会2時開始
23	土		休養日	
24	日		1年生大会	
25	月	×	あり(半面)	専門委員会
26	火	×	休養日	一言下校
27	水	○	休養日	
28	木	×	あり(半面)	

- ▶ 今年度から休養日を明記
- ▶ 管理職へ提出（月末5日前まで）

休養日

1年生大会
あり(半面)

休養日

休養日

- 男性(30代) 「学校全体で部活動の休養日をしっかりとれるようになり、週休日の時間外勤務が大幅に減りました。」
- 男性(50代) 「これまでの自分の働き方（勤務スタイル）の傾向が分かりました。見直しをもって勤務時間を管理していきたい。」
- 女性(30代) 「自分なりの勤務管理をしています。子育て中で、毎日のお迎えがあるため、朝30分早く出勤し仕事貯金をしています。」

「中学校の場合、担当教科や部活動の違いなどもあり、全ての教職員に万能的な、時間外勤務時間削減策を見出すのに苦慮しています。各教職員がどの時間帯にどれくらい時間外勤務をしているのかを認識してもらうため、毎月教職員庶務事務システムからデータをダウンロードしてグラフ化し、学校全体の傾向、個人の月別推移を見える化することで、教職員自身の気付きを促し、意識改革へつながるように工夫しています。」

朝練の見直しの先に・・・



小学校の中には、年間を通した特設クラブの活動や運動会等に向けた練習が早朝に行われています。伊勢山小学校では、登校時の安全の確保、指導体制の充実等に向けて朝練習を見直してきました。教職員、児童、保護者からも好評で、参加児童数の増加や子どもの健康面の変化等が見られています。



- 「朝練習参加の児童が登校する時間には見守り隊の方は立っていない。やはり心配だ・・・」
- 「年間を通して、子どもたちに様々な活動を経験させたい。」
- 「朝練習に関わる教職員は限定的だ。持続可能なものに変えていきたい。」



年度	朝練の形態	参加の様子
平成28年度	週2回 合唱 特設スポーツ	参加児童は限定的 参加できる活動が限定的
平成29年度	週1回 合唱 特設スポーツ	
平成30年度	行事ごとに募集（学校行事・地域行事等） 休み時間に活動	参加児童数増 活動機会の広がり

【参考】体調不良やけがの様子

	体調不良	けが
H28	403人	762人
H29	291人	361人
H30	254人	316人

※伊勢山小学校保健室調べ（各年度4～12月実績）

右上の表のように、朝練習の見直しを進めたことが、子どもの生活リズムの安定を生み、体調不良やけがの減少にもつながっているのかもしれませんが、また、子どもたちの変化だけでなく、指導に関わる教職員が増えたことで、チーム意識や同僚性の向上につながる好循環も生んでいます。

関わりのある先生方の声をお伝えします。

朝練習がなくなって、子どもが落ち着いて登校することができ、朝から体調をくずしたり、けがをしたりする児童が少なくなりました。私自身もゆったりとした気持ちでスタートできます。 **養護教諭**

練習を休み時間の活動にしたことで、子どもの参加人数が倍増しました。短期集中の良さも感じます。廊下で下級生が「自分もやってみたい!」と意欲的に覗く様子も見られました。 **特設音楽クラブ担当**

運動会や球技大会の練習を中休みに行うことで、職員の負担の軽減につながりました。特設スポーツクラブとして参加していた地域の体育行事は、個人での参加となりました。 **昨年度 特設スポーツクラブ担当**

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (平成31年2月8日時点)

項目	目標	平成31年1月実績			
		平均	小学校	中学校	特別支援学校
時間外勤務月80時間超の教職員の割合	0%	7.6% 前月比 +0.7	2.0% 前月比 +1.2	20.6% 前月比 -0.2	0.6% 前月比 +0.2
19時までに退勤する教職員の割合	70%以上	73.8% 前月比 -0.9	72.5% 前月比 -1.0	73.4% 前月比 ±0	87.1% 前月比 -3.4

※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、ICカード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

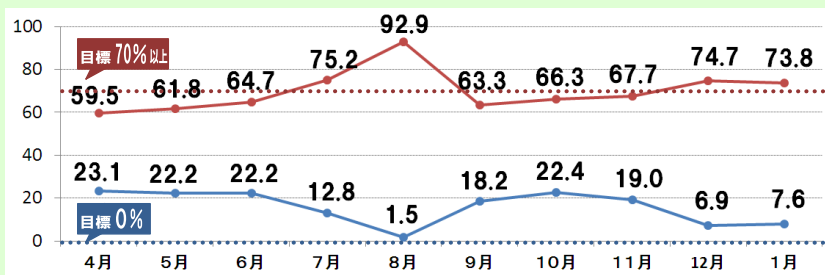


年度始めのころに比べて、日々の勤務時間を意識していることが、「19時までに退勤する教職員の割合」の数字に表れてきています。学校業務は繁忙が大きいです。日々の目標として、「19時までに退勤」を日常的に意識し、実行できる学校でありたいものです。

達成目標に対する現状値

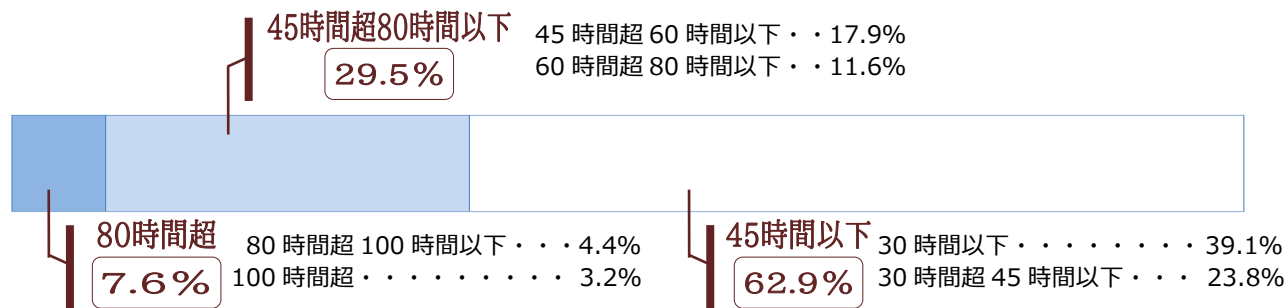
赤線 19時までに退勤する教職員の割合

青線 時間外勤務月80時間超の教職員の割合



(2) 時間外勤務 (平成31年1月) の詳細

◇時間外勤務の割合 (平均)



◇時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり時間外勤務	100時間超	80時間超100時間以下	小計 (80時間超)	60時間超80時間以下	45時間超60時間以下	小計 (45時間以下)	30時間超45時間以下	30時間以下
小学校	0.3%	1.8%	2.0%	9.9%	20.4%	67.7%	28.1%	39.6%
中学校	9.8%	10.8%	20.6%	17.1%	14.9%	47.4%	16.3%	31.1%
特別支援学校	0.2%	0.4%	0.6%	2.6%	7.8%	89.1%	17.6%	71.5%
平均	3.2%	4.4%	7.6%	11.6%	17.9%	62.9%	23.8%	39.1%



ICカードによる勤務実態の把握を始めてから間もなく一年が経とうとしています。教育委員会事務局では、勤務実態データ等も踏まえ、事務局、学校、個人、それぞれの立場で積み重ねた成果や課題、来年度に向けた方向性を整理しています。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。